

「2021年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

智辯学園奈良カレッジ小学部

6年生が本年度5月に受験した全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

調査は、国語・算数と児童質問紙の3種類です。

本校では、児童の基礎学力を確認するのに良い機会と考え、毎年調査に参加しています。

また、児童質問用紙で児童各人の生活の様子がわかるのも本調査のメリットであると考えています。

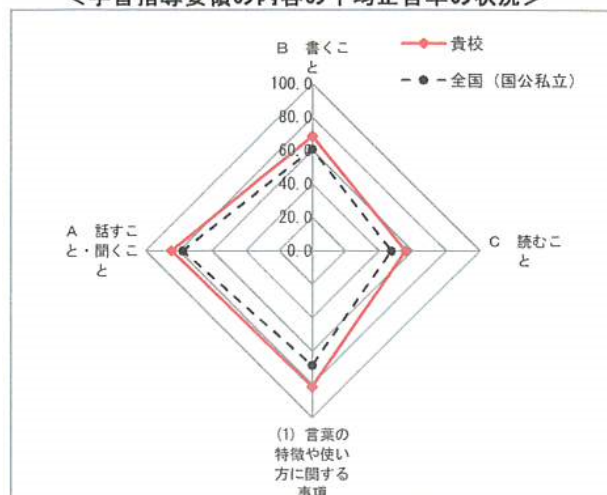
以下が本校6年生の結果です。

【国語】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
				貴校	全国(国公立)
全体			14	75	64.9
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	6	81.4	68.5
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	0		
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0		
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	84.5	77.9
		B 書くこと	2	68.6	60.8
		C 読むこと	3	55.8	47.4
評価の観点	知識・技能		6	81.4	68.5
	思考・判断・表現		8	69.8	62.2
	主体的に学習に取り組む態度		0		
問題形式	選択式		8	81.7	71.9
	短答式		3	82.2	70.7
	記述式		3	48.8	40.4

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



左のグラフから本校6年生の国語の基礎学力や思考力は概ね養われていることが分かります。「読むこと」の領域が低くなっているのは今回のテスト問題が例年より難化したため、今年の6年生の力が例年より大きく劣っているということではないと考えています。しかし、今以上の読解力をどのように養成するかは、本校としても課題であると思います。

上の表の「評価の観点」の中で「知識・技能」については全国平均を大きく上回っています。一方、「思考・判断・表現」は、全国平均を上回っているもののさらに力を養う必要があります。

児童質問用紙の「国語の勉強は好きですか」という問いに対し、86.8%が「好き」(「どちらかといえば当ては

まる」を含める)と答えているのは嬉しく思います。

文部科学省は、小学校の国語では「目的に応じて、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つけて読むこと」に課題があるとしています。確かに、国語で扱う教材は多岐にわたり、単に文章だけでなく図表などを読み解く力も求められます。ですから、日頃からいろいろな分野に興味・関心を広げることが大切です。

今回の調査で普段30分以上読書する児童は、32.6％（全国平均37.6％）と少なく、読書習慣の定着に課題が見つかりました。一方「新聞を読んでいるか」の問いに対して週に1回以上読んでいるとの回答は32.6％（全国15.1％）と社会の出来事に対して関心を持つ児童が3分の1程度いることも分かりました。

児童たちには、読書する機会を増やして、自己の世界を広げてほしいと願います。児童たちが、幅広い分野に目を向けて、論理的文章や図表などのある資料も意欲的に読んで、豊かな精神世界を築けるよう今後ともしっかり教科指導を続けてまいります。

【算数】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			貴校	全国（国公立）
全体		16	87	70.3
学習指導要領の領域	A 数と計算	4	81.4	63.3
	B 図形	3	90.7	58.1
	C 測定	3	86.8	74.9
	C 変化と関係	3	89.9	76.0
	D データの活用	5	85.6	76.1
評価の観点	知識・技能	9	90.2	74.3
	思考・判断・表現	7	83.1	65.2
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	6	86.0	76.2
	短答式	6	95.7	75.9
	記述式	4	75.6	53.2

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



左のグラフからどの分野もバランスよく、算数の基本的な学力がしっかり養われていることが分かります。

また上の表から応用力や算数的思考力も備わっていることや記述式の問題形式が他に比べてやや低い値になっているものの、全体としてはしっかり力がついていると言える結果であるということが分かります。

児童質問紙の回答では、「算数の勉強は好きだ」81.4％（「どちらかといえば、当てはまる」を含む：以下も同様です）、「算数の授業の内容はよく分かる」86.1％、「算数の勉強は大切だ」93.0％、「算数で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」88.4％となっていて、本校6年生が算数に対して高い意欲と関心を持っていることが分かります。

文部科学省は「速さを求める除法の式と商の意味を理解したり、複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述したりすることに課題がある。」としていますが、本校6年生は共に約75％の正答率で、しっかり理解できている児童が多いという結果でした。

本校6年生は、算数の基礎学力・応用力とも概ね身についていると言えます。

本校では、算数演習については教員を増員して、児童それぞれの習熟度に対応した4つのグループで丁寧な指導を行い、児童個々の力を伸ばすことに力を入れています。今後児童たちには、算数を学ぶ楽しさを知ってほしいと思っています。児童各自が主体的に問題に取り組み、論理的思考の楽しさや論理的整合性の美しさを味わえるようになってくれることを期待してより丁寧な教科指導を続けてまいります。

学習についての総括

質問番号	質問事項									
(18)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他
貴校	41.9	20.9	20.9	9.3	7.0	0.0				0.0
全国（国公立）	11.9	15.4	35.5	24.3	9.4	3.5				0.0

<input type="checkbox"/> 1. 3時間以上	<input type="checkbox"/> 2. 2時間以上、3時間より少ない	<input type="checkbox"/> 3. 1時間以上、2時間より少ない	<input type="checkbox"/> 4. 30分以上、1時間より少ない
<input type="checkbox"/> 5. 30分より少ない	<input type="checkbox"/> 6. 全くしない	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 無回答

上記の表から本校6年生はそれなりに学習に時間をかけていることが分かります。中学生になると、日々の限られた時間の中でいかに学習成果を出すかという効率を考えた学習が大切になってきます。児童たちには、時間に見合う成果がきちんと出ているのか、しっかり検証しながら学習に取り組んでほしいと思います。

今年はICTについての質問もありました。「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」という質問に対して「ほぼ毎日」は65.1%（全国11.4%）、「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするに、どの程度活用していますか」は「ほぼ毎日」が44.2%（全国10.2%）と本校教育のICT化が一気に進んだことが分かりました。

また、新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校の影響についての質問もありました。「新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか」に対して、「当てはまる」（「どちらかと言えば当てはまる」を含む）は46.5%（全国55.0%）で約半数に及んでいました。一方「新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができたか」には「当てはまる」（どちらかと言えば含む）が69.7%（全国64.7%）と多くの児童が計画を立ててしっかり学習に取り組んでくれていたことを頼もしく思いました。ただ、「新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活をおくっていましたか」に対しては「当てはまる」（どちらかと言えば含む）が51.2%（全国63.0%）と生活習慣を崩す児童が半数いたことも分かりました。今後も新型コロナウイルスとの戦いは続くと思われます。ICT機器なども活用しつつ児童の学習保障にしっかり取り組もうと考えています。

【児童質問紙】

基本的生活習慣及び規範意識

質問事項		選択肢	
		している（思う）	どちらかと言えば
朝食を毎日食べていますか	本校	69.8	23.3
	全国	85.8	9.1
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	本校	27.9	41.9
	全国	38.3	42.9
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	本校	62.8	27.9
	全国	55.0	35.4
人が困っているときは、進んで助けていますか	本校	39.5	48.8
	全国	43.6	45.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	本校	83.7	11.6
	全国	84.1	12.7
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	本校	72.1	23.3
	全国	75.4	20.1
学校に行くのは楽しいと思いますか	本校	58.1	30.2
	全国	48.0	35.4

上の表から、本校6年生たちの多くは、毎日楽しく登校してくれているようですが、約1割の児童がそうではないと回答していることが気になります。また、本校6年生のほとんどが決まった時刻に起床していることが分かります。しかし、就寝時刻が一定していない児童が約3割もいることは気がかりです。睡眠時間が十分に取れていない児童がいるものと思われます。さらに、「朝食を毎日食べていますか」に対して「している」が69.8%（全国85.8%）となっています。

「早寝・早起き・朝ご飯」は、児童の生活習慣を整え、一日のリズムを生み、健全な身体と精神を養い、ひいては学力の向上にもつながり、学校を楽しみと感じる根本ともなる大切なものだと思います。

また、本校6年生は規範意識もしっかりと身についています。人が困っているときは、進んで助けられる人間、人の役に立つ立派な人間になりたいという意識や「いじめ」を決して許さないという意識を持っていることも嬉しく思います。これからも仏教の教えを基に心優しい人物を育みたいと考えています。

本校では、今後も児童の見守りをしっかりと行い、丁寧な指導を心がけてまいります。

自尊意識・挑戦心及び社会に対する関心

質問事項		選択肢	
		している (思う)	どちらかと 言えば
自分には、よいところがあると思いますか	本校	41.9	44.2
	全国	36.2	40.7
将来の夢や目標を持っていますか	本校	62.8	20.9
	全国	60.2	20.1
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	本校	32.6	51.2
	全国	36.0	48.4
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	本校	16.3	51.2
	全国	24.4	46.5

上の表から本校6年生は「自分には、よいところがあると思いますか」では全国平均を約10ポイント上回っており、自尊感情が高いことが分かります。

また、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」や「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」は全国平均よりやや低い値になっていますが、「将来の夢や目標を持っていますか」は高い値となっています。

本校6年生は将来に夢を抱いて、物事をやり抜こうとする気持ちをしっかり持っていながらも、要求水準が高く、常に完璧を追い求めているため、失敗を恐れる傾向にあるのではないかと思います。しかし、失敗することや間違えることは決して恥ずかしいことではなく、そこから学ぶことはたくさんあります。失敗を恐れず、何事も最後まであきらめずにやり抜く強い精神力も必要だと思います。失敗を今後はどう活かしていくかが成長へとつながります。児童たちが、小さな失敗をたくさん積み重ねて大きな成果へとつないでくれることを期待しています。

私たち教員は、本校6年生の夢の実現のため児童たちと共に試行錯誤しながら歩を進めていける学校でありたいと考えています。また、児童たちが主体的かつ意欲的に、いきいきと活動できる学校を目指して、教育に精励する所存です。